

働くことは生きること

福岡県・福岡県立八幡高等学校 2年 米満 愛美

私は今年の春、高校2年生になった。来年は高校3年生、大学受験が待ち構えている。そんな私は最近よく思う。「何の為に私は毎日こんな朝早くから学校に来て、勉強しているのだろう」。私が通っている学校は家から遠く毎日5時前には起床している。最初からそれは分かっていた、それでも私は今の学校を選んだ。今考えてみると、中学の頃の私は、「とりあえず高校に行く」を目標にして勉強し、なんとなく今の高校を選んだのだと思う。一応、目標を達成した私は、「何の為に勉強しているのか」と高校入学からずっと考え続けている。

「何の為に勉強しているのか」——この質問を友人にしてみたら、「大学に行く為」という答えが返ってきた。私はこの答えを聞いた時、目標を持って勉強している友人のことをすごいと思った。目標を持つことは何事においても重要だ。しかし、大学に合格して目標を達成した後は、何の為に勉強するのだろうか。

この考え方でいくと大学生生活の目標は「就職すること」になる。では、働きだしたら何を目標に生きていくのだろうか。私には「何の為に勉強するのか」も「何の為に働くのか」も分からなかった。授業中も、「なんでこ

の授業を受けているのだろう。この問題が解けることに何の意味があるのだろう」と、いつも考えていて、授業をまじめに受けることができなかった。

高校2年生になった私は夕方のニュース番組で「ニート」の特集が組まれていたのを、母親と一緒に見た。「ニート」とは仕事も通学もせず職業訓練も受けていない若者たちのことである。彼らは親に頼りきって生活していた。驚いたのは、大学進学までした末に「ニート」になる人もいるということである。これを見た母は、「大学まで行かせたのに働かんなんてふざけるなっち感じよね」と私に問いかけてきた。私は答えられなかった。

「ニート」になる主な原因は、仕事をやっていく自信がなかったり、本当にやりたい仕事はまだ見つからないからだと言われる。私もその気持ちは分かる。自信はないし、したい仕事はあるといえばあるけど、その仕事をしている自分がイメージできない。というか、自信をつけたり、イメージしようという努力さえ私はしていないと思う。それは、私の心の中に努力することを嫌がり、挫折することを恐れる自分があるからなのだろう。

この出来事がきっかけとなって私は「何の為に働くのか」と「夢（目標）」についてよく考えるようになった。そうすることで「何の為に勉強しているのか」の答えも見つかる気がしたのだ。答えが見つければ、今は「ニート候補」の私も自分のしたい仕事をやっていける気がした。

答えは案外簡単に見つかった。私の友人（前に質問した人とは別）にもう一度「何の為に勉強しているのか」と質問した。すると彼女は、「夢を実現させる為に決まっている」と何の迷いもなく答えた。彼女は夢の実現の為に学校の勉強以外でも毎日、努力をしている。彼女は「自分の未来」を創るために勉強しているのだった。

私は今度は母に、「私がニートになったらどうする」と尋ねた。母は、「怒るよ。私はその為に働いてるんじゃないよ」「じゃあ何の為に働いているの」、すると母は、「そんなのあなたの将来の為に決まっとるやろ」と、はっきり答えた。「私もお父さんも、愛美ちゃんが将来やりたいことやれるように働いてるんよ。それなのに『ニート』とかになったら怒るに決まっとるやろ」

私は、父と母にとっても感謝した。父は単身赴任で大分で一人がんばっているし、母も仕事で帰りが遅くなっても夕食の準備を

してくれるし、朝も私に合わせて早起きしてくれる。それは、「私の未来」を創る為だったのだ。二人は、「私の未来」を創ることを目標に毎日働いているのだ。私はそのことが本当に嬉しかった。

私は友人と両親からとても大切なことを学んだ。やはり私や「ニート」の考え方は甘えでしかなかったのだ。私はそのことを彼らに教えてもらった。そして、「未来を創る」為に勉強すること、働くことも。私は「働くこと」は「未来を創る為に努力をすること」という答えを出した。その為には私は一体何をしたらいいのだろうか。

私は今、「自分の未来」を創る為に勉強している。もちろん努力はたくさんしなければならないし、挫折を経験するかもしれない。それでも、私は絶対にあきらめないと決めた。そして、いつかは私が「自分の子供の未来」を創る為に働くのだろう。その為にも私は努力をしていきたい。

さきほど私は「働くこと」は「未来を創る為に努力すること」と言ったがそれは「生きること」と同じことだと思った。「働くこと」は「生きること」である。